

ローズクォーツ (紅石英)

ROSE QUARTZ

ガラスのような光沢が見られ、ハンマーなどでたたくと貝殻状の断口があらわれる。

加熱したり、X線を照射すると黒くなるという特徴がある。

堆積岩や花崗岩pegmatite中に多い。

蛍光はあまり見られないが、ブラックライトを当てると黄色の蛍光を示すものもある。

紅石英は一般に大きな塊として産出する。透明なものは少なく、混濁していたり、ひびが入っているものがほとんどだ。

ブラジルのミナス・ジェライス州より産出した紅石英。国立科学博物館所蔵『櫻井鉱物コレクション』のひとつ。

DATA FILE



六方晶系

名 前	ROSE QUARTZ (ローズクォーツ) / 紅石英
化学組成	SiO ₂
色	ピンク色
光 沢	ガラス光沢
蛍 光	黄色 (あまり見られない)
条 痕	白色
劈 開	なし
断 口	貝殻状
硬 度	モース硬度 7
比 重	2.65

石英グループ



▲石英

紅石英は、ピンク色からやや紫がかった淡い紅色まで、さまざまな色をしているが、これは結晶に含まれるごく微量の酸化金属（酸化チタン、酸化鉄）による。不純物が含まれていなければ無色透明になり、たんに石英と呼ばれる。

産出する場所

紅石英は、ほかの石英グループの鉱物と同じように、堆積岩や花崗岩ペグマタイト中で発見されることが多い。また、岩石の晶洞内に見られることもある。古代ローマ時代から装飾品などに利用されていた紅石英は、インドやスリランカ、ロシアのウラル地方から産出したものだった。

ローズクォーツ（紅石英）



▲透明で質のよい紅石英。

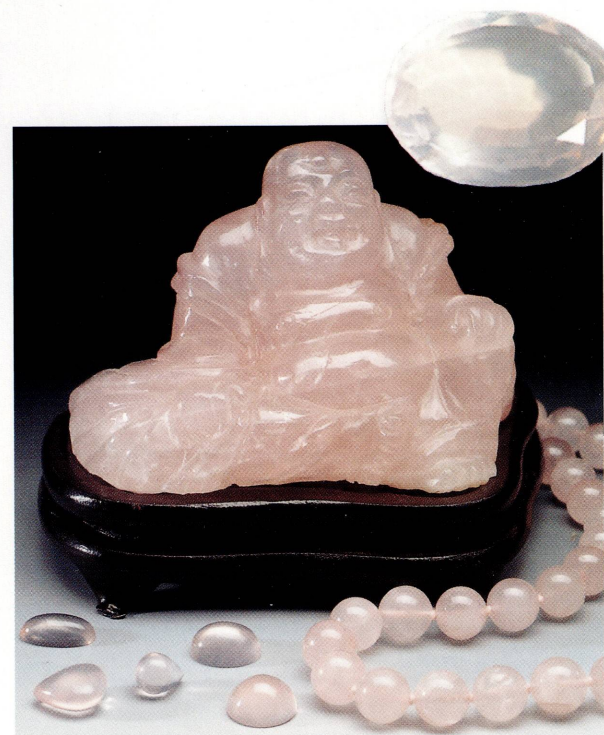
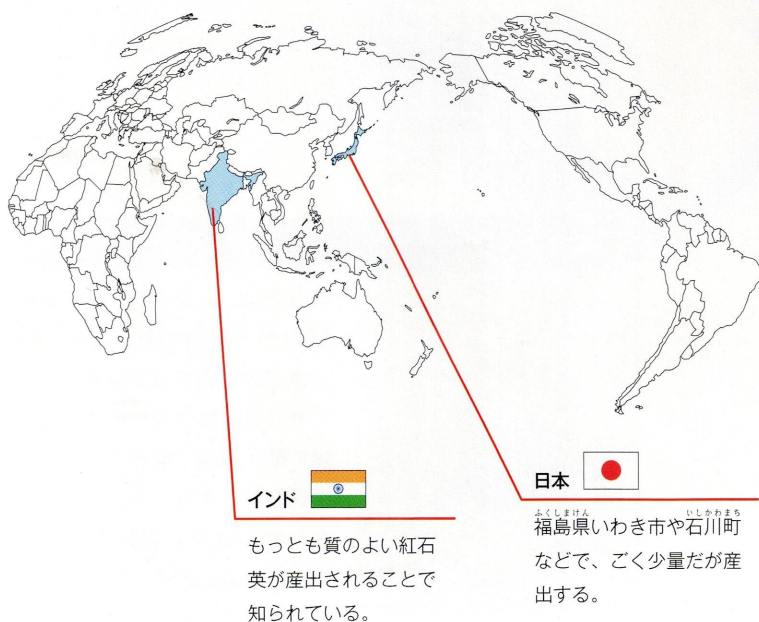


▲塊状の紅石英。

紅石英の模造品

装飾品として人気が高い紅石英は、カボションカットや卵形にカットティングし、ネックレスに加工されることが多い。しかし、着色ガラスで模造品がつくられることがあるので注意が必要だ。色や結晶内部に見られる縞模様は再現することが可能だが、合成の過程で気泡が生じることが多いため、見わけることができる。

主な産地



▲カットिंगがほどこされた紅石英。